

# 7 章 消波工

7.1 消波工（捨石）

7.2 消波工（ブロック据付）

# 7章 消波工

## 7.1 消波工(捨石)

### 1. 適用

海岸工事における離岸堤、消波堤、突堤等の海上作業における捨石工に適用する。

### 2. 数量算出項目

捨石投入の体積、捨石均しの面積を算出する。

### 3. 区分

区分は、規格とする。

#### (1) 数量算出項目一覧表

項目	規格	単位	数量	備考
捨石投入	○	m <sup>3</sup>		
捨石均し	○	m <sup>2</sup>		

#### (2) 捨石投入の規格区分

捨石に使用する材料を砂利及び岩石に区分して算出する。

#### (3) 捨石均しの規格区分

捨石均しの規格の区分は以下のとおりとする。

- 捨石均し ——— 本均し (精度±5 cm)
- 荒均し (精度±30 cm)
- 荒均し (精度±50 cm)
- 被覆均し(精度±30 cm)
- 被覆均し(精度±50 cm)

## 7.2 消波工(ブロック製作・据付)

### 1. 適用

海岸工事における離岸堤、消波堤、突堤等の海上作業におけるブロック製作・据付工に適用する。

### 2. 数量算出項目

ブロックの個数を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、作業区分、規格とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分				
	作業区分	規格	単位	数量	備考
ブロック	○	○	個		注) 1

注) 1. 型枠の種類(プラスチック・鋼製等)について、備考欄に明記する。

2. ブロックの積込場所から据付場所までの片道運搬距離(km)についても算出する。

#### (2) 作業区分

作業区分は、以下のとおりとする。

ブロック据付作業区分

- 陸上設置
- 水中設置

注) 陸上設置とは、ブロックを平均干潮面より上に設置する場合を言い、平均干潮面が設定されていないところでは、平均水面と塑望平均干潮面との1/2とする。

#### (3) ブロックの規格区分

ブロックの規格区分は、以下のとおりとする。

##### ブロック製作

ブロック1個当りの実質量とする。

##### ブロック据付

ブロック1個当りの実質量

- 4.5t以下
- 4.5tを超え7.5t以下
- 7.5tを超え12.5t以下
- 12.5tを超え22.0t以下
- 22.0tを超え31.0t以下
- 31.0tを超え37.5t以下
- 37.5tを超え50.0t以下

#### 4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) ブロック1個当りコンクリート設計量（ $\text{m}^3$  /個）、型枠面積（ $\text{m}^2$  /個）及び必要に応じて鉄筋（連結用フックを含む）量（t /個）を径毎に算出する。